

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公開番号】特開2016-38284(P2016-38284A)

【公開日】平成28年3月22日(2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-017

【出願番号】特願2014-161422(P2014-161422)

【国際特許分類】

G 01 B 11/06 (2006.01)

G 01 B 11/24 (2006.01)

G 01 B 9/02 (2006.01)

B 05 C 11/00 (2006.01)

【F I】

G 01 B 11/06 G

G 01 B 11/24 D

G 01 B 9/02

B 05 C 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月26日(2017.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

CCDカメラ30は、ハーフミラー18および結像レンズ28(図1)から構成される観察光学系25によって観察される干渉光を撮影する。Zステージが移動し始め、定速状態になると、取込装置42は、CCDカメラ30が撮影した画像のサンプリングを開始する。Zステージは予め定められた速度v(μm/秒)で移動する。Zステージの移動速度v(μm/秒)は次のように定める。白色光の中心波長をλ(μm)とし、CCDカメラ30の垂直同期信号の周波数をF(Hz)とすると、移動速度v(μm/秒)は、画像のサンプリング周期1/F(秒)の間にZステージがλ/8(μm)だけ移動するよう定められる。この移動速度vは白色光の位相増分でλ/2に相当しており、ナイキスト原理を満たしている。位相をλ/2ずつ変化させることにより、干渉光強度のピークを容易に検出することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

図12を参照して、中央処理部48は、最新の谷候補の画像番号p_{min}(x, y)と画像番号iとの差wを算出する。この差wは、最新の谷候補の画像番号p_{min}(x, y)から画像番号iまでの画像数に相当する。中央処理部48は、画像数wと閾値T_wとを比較する。画像数wは閾値T_wより大きい場合、中央処理部48は、p_{min}(x, y)を谷の画像番号に確定する。